



持続可能な社会を実現する

9/25みらいPitch 長崎幸典

会社沿革 成長期

KAKUICHI

1886



金物屋

長野県稲荷山に
金物問屋を創業
カンバン方式
正札販売
品質保証

1950



卸問屋

金物屋から
問屋へ変化
鉄鋼一次二次
製品取扱

1960



ホース製造業

ブリヂストンと
共同事業
塩ビ押出成型
編上、送水、
サクション
ホースを製造

1962



ハウス製造業

鉄骨、鉄板の
加工により
プレハブハウス
(玉葱ハウス、農機
具ハウス) を発売

1973



海外進出

1ドル360円時代
にロサンゼルスに
塩ビホース工場を
建設

1980



SPAモデル

ガレージ物置の
製造から施工まで
責任を持つ
製造小売業

2004



**ミネラル
ウォーター**

異なる分野
への挑戦

2011



ホテル事業

おもてなし
を極める人
材育成

信用第一

販路拡大

メーカー転身

付加価値

海外進出

VC拡大

新しいビジネス

日本の経済成長と共に**成長**

会社沿革 変革期

KAKUICHI

2013



太陽光
FIT事業

ガレージ屋根に
太陽光パネル
設置

分散型電力
ネットワーク

17,300箇所
136MWZ

2016



ナノバブル
農業改善

ケミカルに
頼らない農業

技術革新

1200の農家
と共同研究

2017



A-SITE
顧客接点
向上

全国70ヶ所
お洒落ガレージ

コミュニティ

人と人が
会う場所

2018



DX
既存事業
変革

システム変革
→文化変革
→組織変革

デジタル

中小企業の
生産性向上

2019



EVフォーク

脱炭素社会
に向けた
サブスクモデル

脱炭素

SDGs
ESG投資

2019



MaaS
地方創生

高齢化対策
データビジネス
他社協業

幸福度

オープン
イノベーション

2022



電力
自家消費

自社工場で
実証実験開始
エコ循環モデル

循環型社会

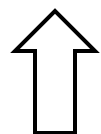
インパクト投資

200㎡超中規模倉庫 2階建ガレージハウス (2025～)



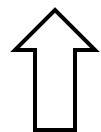
OYAMAフォレストヴィレッジプロジェクト

HHD・Bキャノ・カビアント (2021～)



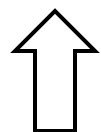
ガレージ・AncientVillaプロジェクト・男の隠れ家

Zハウス・広スペースハウス (1967～：建材工業設立)



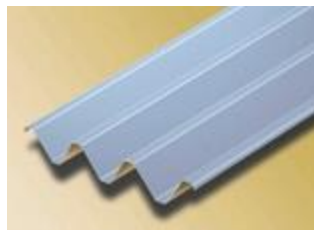
プレス加工技術・粉体塗装技術

折板・ロングルーフ



ロール成形技術

信用第一 金物店としてのお客様との信頼関係



ハウス事業

趣味用ガレージから、店舗・作業所・倉庫まで高い実用性



An aerial view of a farm with several barns. Each barn has a large array of blue solar panels mounted on its roof. The barns are white with dark roofs. The surrounding area is green with grass, trees, and some animals like cows and chickens. A semi-transparent dark blue banner with white text is overlaid across the middle of the image.

小さな発電所を全国に！



**2013年から太陽光事業に携わる
自治体、企業向けに
自家消費・PPA事業に積極参入！**

電力は
売るだけでなく、

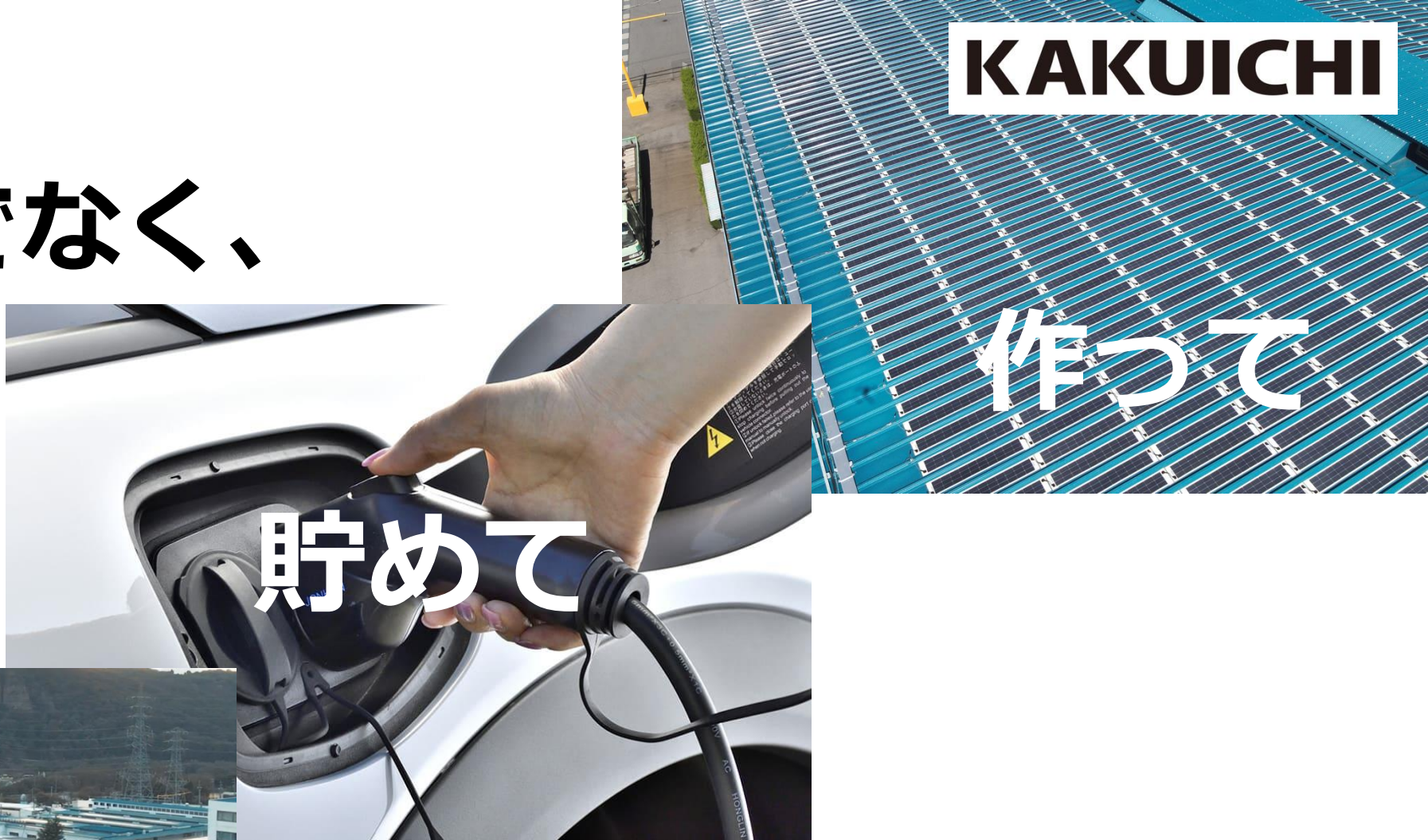
KAKUICHI

作って

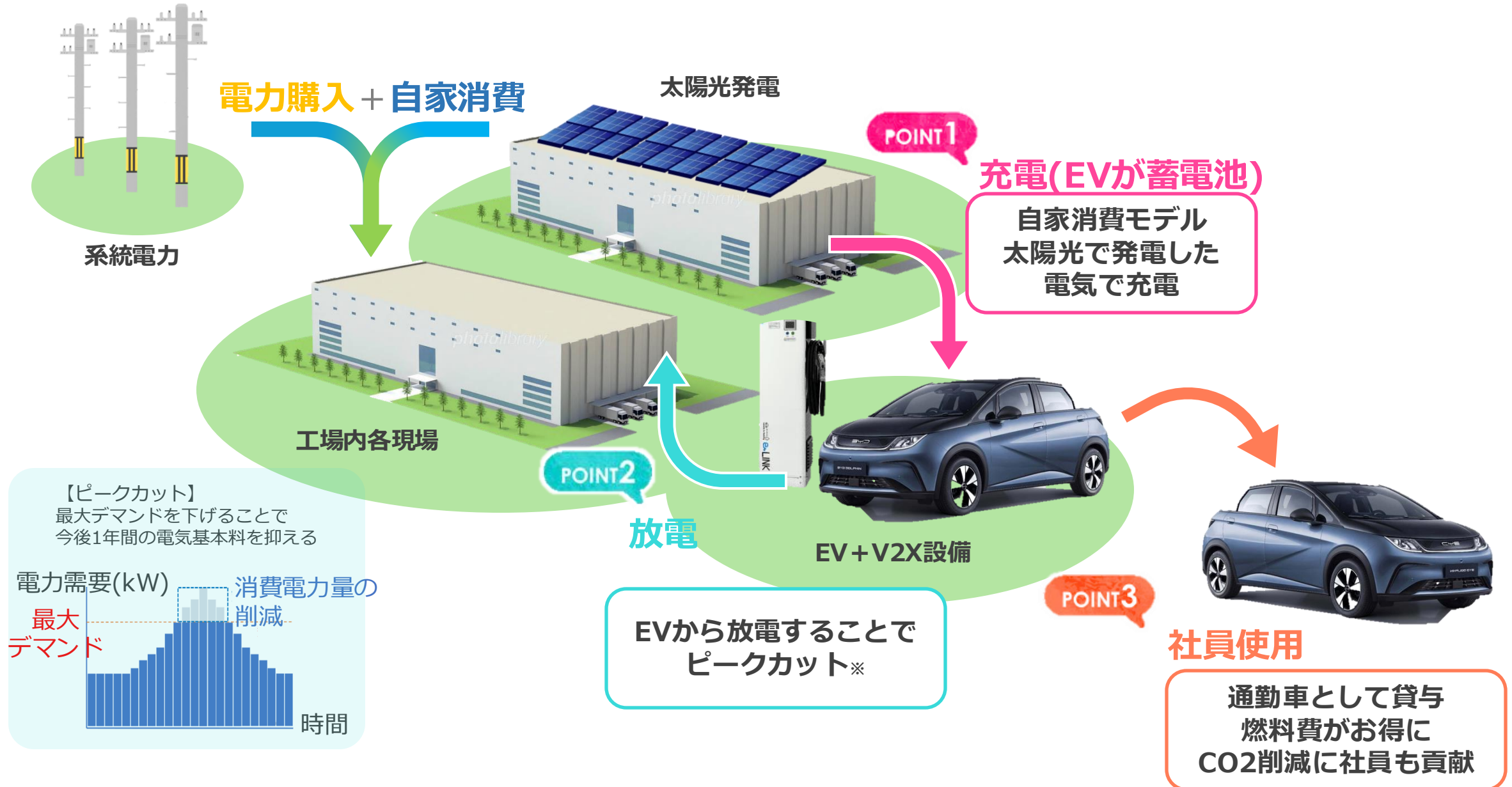
貯めて

使う

時代へ突入



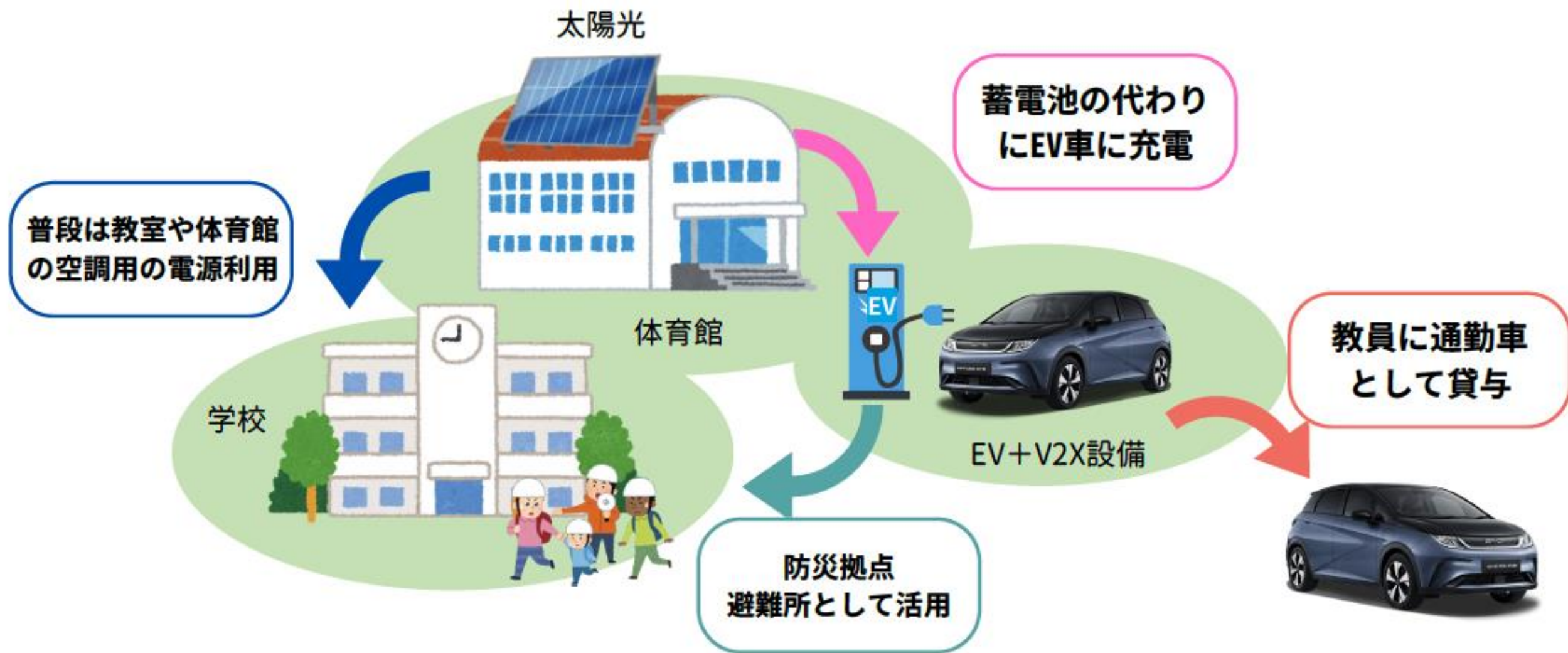
EV車を活用した電力のマネジメント事業



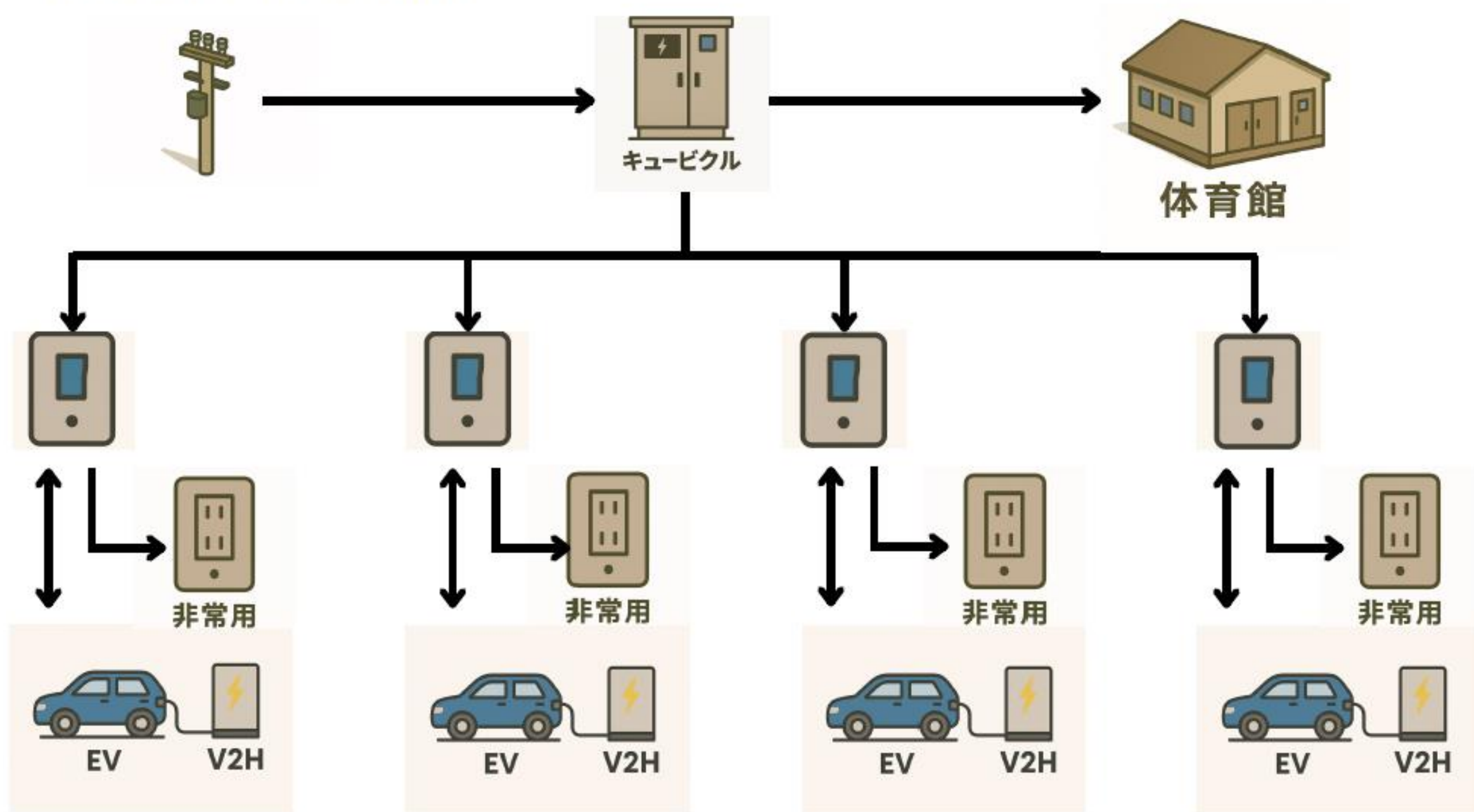
防災拠点としての利用



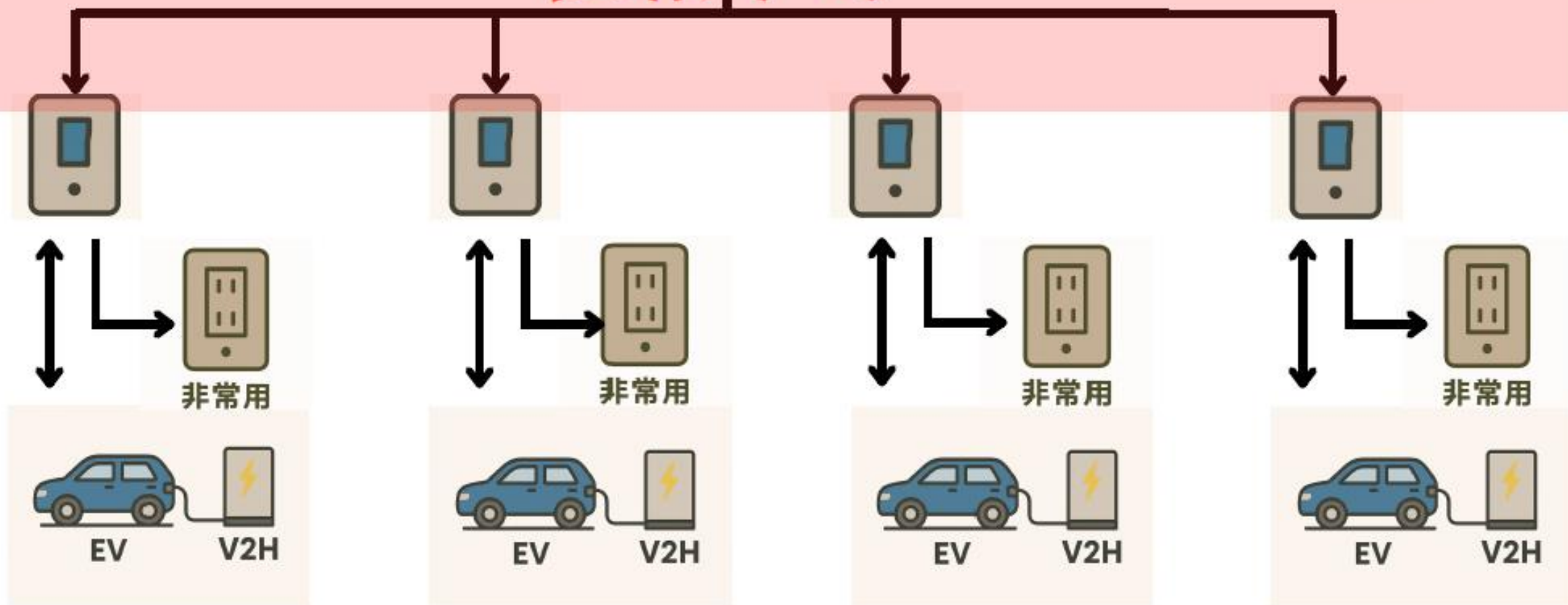
平時は電気代金とCO2削減
災害時には防災拠点として
地域住民を守る避難所として活用できます



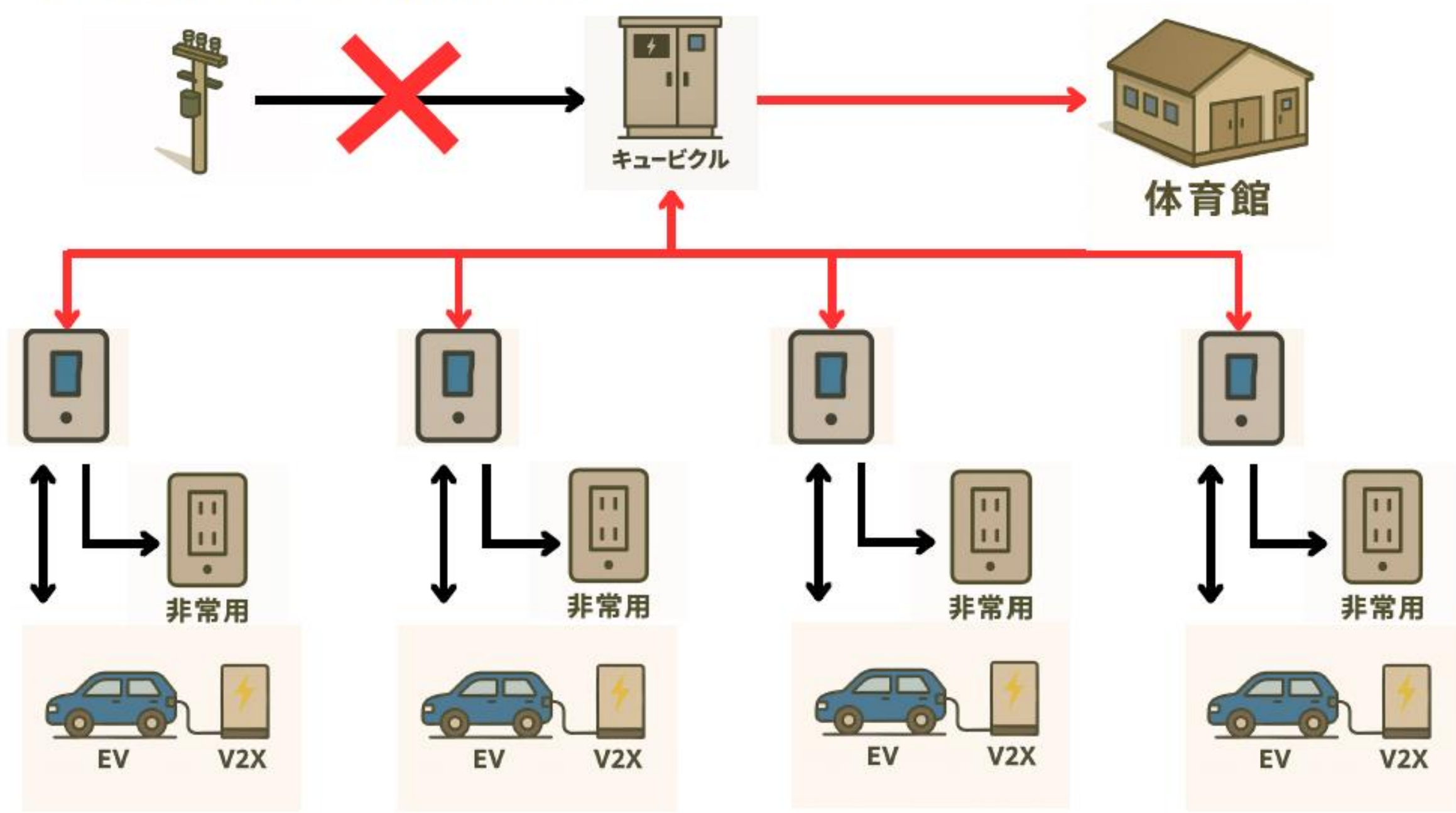
V2Hの複数台接続



V2Hの複数台接続(停電時)



V2Xの複数台接続(停電時)



V2Xの複数台接続(停電時)

	V2H	V2X
給電範囲	特定回路のみ	建物全体
対象	家電など	防災拠点
複数台接続時	1台につき1系統	すべての電気が建物に

V2Hは延長コード、
V2Xは建物ごと動かす主電源となる

頑丈なガレージ

太陽光

岩深水

**コミュニティ、場の
醸成**



IWASHIMIZU
Natural Mineral
Water





小山町フォレストヴィレッジ基本構想

防災 × エネルギー × 新産業 × 森がつくる
世界のここにしかない交流・交感の場



1-04 敷地周辺マップ







イベント時の様子：駐車場の流れの中に、マルシェやコンサート等のイベントもできるたまり場をつくる

※イメージのため、今後の協議次第で変更となる場合があります

3-03 森のコンプレックス



がらんとしたギャラリーホール：天井から吊られた大きなカーテンが、ホールと動線を緩やかに分節する

※イメージのため、今後の協議次第で変更となる場合があります

3-04 森のヴィラ -長屋型ガレージプロトタイプ-



庭の入り口からの風景：ずれながら水平に連なる壁が、森の中のコミュニティの顔をつくる

※イメージのため、今後の協議次第で変更となる場合があります

3-06 森のファクトリー -中規模多機能工場型ガレージプロトタイプ-



森からの風景：長い時間をかけて芽吹き、成長する森の奥に、森の恵みを受けてものづくりをする人間の生産の場がみえる

※イメージのため、今後の協議次第で変更となる場合があります

3-06 森のファクトリー -中規模多機能工場型ガレージプロトタイプ-



ワークショップ+ファクトリー：オープンな敷地路によって繋げられた実験とイベントのためのスペース

※イメージのため、今後の協議次第で変更となる場合があります

3-05 森のアンフィシアター

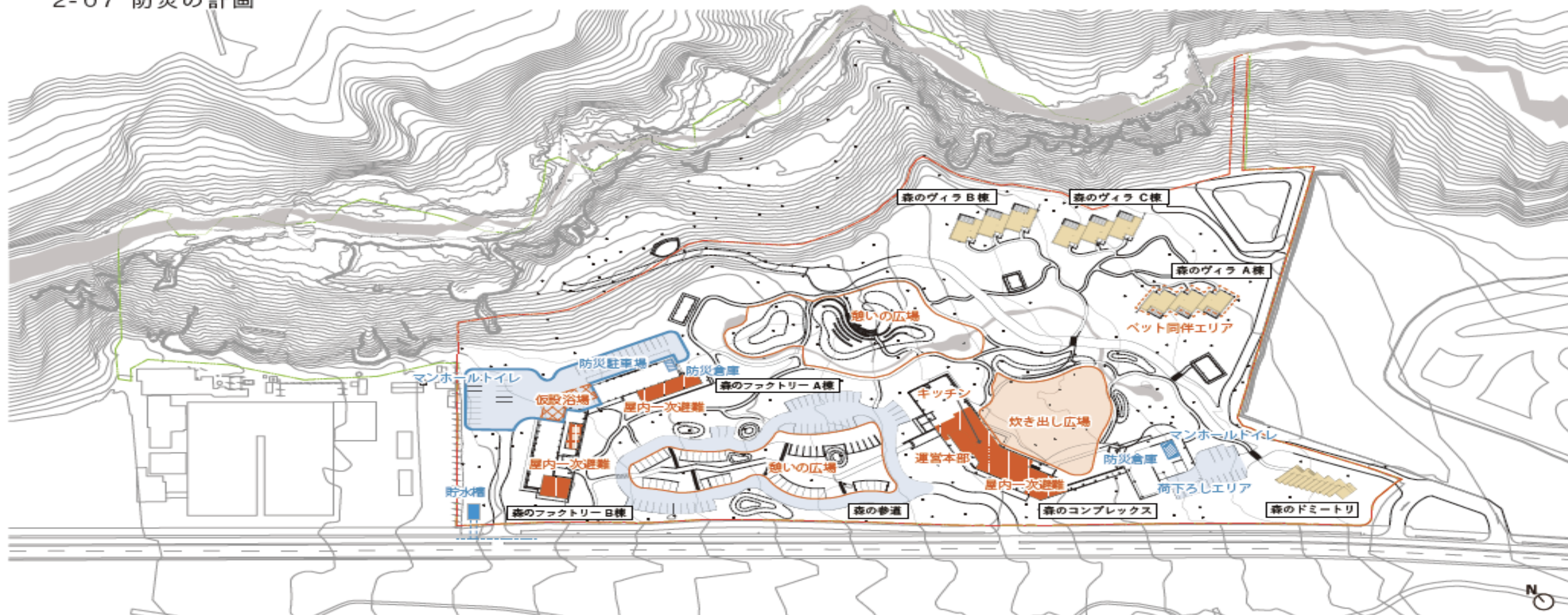


森の中央、地形のなねりに抱かれるような、静かな集いの空間

※イメージのため、今後の協議次第で変更となる場合があります



2-07 防災の計画



<防災拠点整備に向けたポイント>

1. 森のマーケットコンプレックス / 炊き出し広場 : 運営本部やキッチンを活用した炊き出し機能を備える防災の拠点
2. 水回り機能をまとめた森のファクトリー : 仮設浴場なども設置可能な水や物資の拠点
3. 避難所利用も可能な森のヴィラ / 森のドミトリー : 指定避難所として 100 人の避難を可能にする宿泊の拠点
4. 軒下利用できる荷下ろしエリア : 工房を活用した大きなピロティ空間を活用し防災倉庫も備えた荷下ろしエリア
5. 一次避難として 490 人程度を確保 : 森のファクトリーと森のマーケットコンプレックスを一次避難として利用 ※1 人あたり約 1.65 m²

	指定避難所	屋内一次避難
森のヴィラ A棟	24人	24人
森のヴィラ B棟	24人	24人
森のヴィラ C棟	24人	24人
森のドミトリー	30人	30人
森のコンプレックス	-	250人
森のファクトリー A棟	-	70人
森のファクトリー B棟	-	70人
	102人	492人

やろう、

だれもやらないことを。